

過疎対策が全市的な課題 3年度から「藤島」も過疎に

令和3年4月1日に「新過疎法」が施行され、合併市における一部過疎地域として、朝日・温海に加えて、人口減少が大きいことから、藤島が過疎に追加されています。

また進展している項目が47あり、達成率は52%としています。

人口に関する目標では、転入者数と転出者数の差が、令和2年(2020)の基準値▲427人に対し、4年は▲296人に改善しています。

しかし、合計特殊出生率は、元年(2019)の1.43から、4年は1.37に減少しています。

鶴岡市は市全域が、一部過疎区域を含む「みなし過疎」とされ、過疎対策が全市的な課題になっています。

市の「過疎地域持続的発展計画」の達成状況では、91項目の目標のうち、目標を達成、

年68件から4年76件に増えています。

人材育成では、全国学習状況調査で、「自己肯定感を感じている子どもの割合」が低下しています。

小中一貫校は止める

藤島地域は平成大合併の被害が大きく、さらに1つの小中一貫校だけの地域にしようとしています。

そうなれば、子どものいない過疎地域になり、必ず止めなければなりません。

鶴岡市「過疎地域持続的発展計画」評価報告書から抜粋

【目標値の達成状況(令和4年度)】

・人口に関する目標

	<基準値>		<実績値(上段)及びその評価(下段)>					<目標値>
	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2025(R7)	
転入者数と転出者の数の差	▲427人	▲406人 A	▲296人 A				▲159人	

	<基準値>		<実績値(上段)及びその評価(下段)>					<目標値>
	2019(R1)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2025(R7)	
合計特殊出生率(出生数)	1.43 (702人)	1.44 (685人) C	1.37 C				1.73 (789人)	

※翌年度10月頃に公表(県しあわせ子育て政策課)

【目標値の達成状況(令和4年度)】

・移住定住施策による移住件数(年間)

	<基準値>		<実績値(上段)及びその評価(下段)>					<目標値>
	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2025(R7)	
移住定住施策による移住件数(年間)	68件	69件 A	76件 A				75件	

・全国学習状況調査における割合

	<基準値>		<実績値(上段)及びその評価(下段)>					<目標値>
	2019(R1)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2025(R7)	
自己肯定感を感じている子どもの割合	80.6%	79.6% C	78.1% C				84%	

ふるさと賛歌 20

鈴木重雄(八色木)

村の俳人たち

薬師堂は、村の政事(まつりごと)・信仰・文化・娯楽のよりどころであり、今の公民館の役割を果たしていた。

元禄2年(1689)に松尾芭蕉が奥の細道に旅立ち、庄内においては羽黒・鶴岡・酒田などで句会を開いた。

特に、羽黒においては1週間にわたって数度の句会を開き、直接芭蕉の指導を受け、その影響は大きかった。

手向村の出で芭蕉に弟子入りした呂丸(ろがん、又はろまる)の高弟・土田竹童(藤島・下町出身)の遺志は、八色木の海藤竹風によって継承された。

竹童の高弟・竹風は、海藤徳右衛門の出で、当地方の指導者であり、彼の全盛時代は明和年中(1764~1777)で、その寿碑「竹風碑」は、門人の手によって寛政7年(1795)卯3月、永慶寺門前に建てられた。

竹風は、竹童没後の明和9年辰(安永元年1772)の秋、8月吉日に願主となつて、薬師堂に句額を奉納した。

その句額は惜しいことに紛失した。ここに竹風が述べた「論語海露抄自序(ろんごかいろうしようじじよ)」があるので、解説したい。

我々は代々八色木村の百姓五郎八と申す。

いたつていやしきものなり。

この書を書かんと志すこと20年ばかり先よりの願いなれども、家貧なれば身も心もひまなくして叶わず。

今年63歳に年よりぬ。冬にもなりしかば万事去年と違い、眼もうとく齒もいつしかわづか残り、何仕事も不自由になり、ただ寒を恐れ、安きを求めて此の世も今しばらくならんとおもふものから。

是れより書かれ次第におもいたち、少しづつ手仕事をしながら書き記すものなり。

誠によき人などの見たらば、片腹いたくおぼしめされん。

たゞ一生の間何と申して四書を読み習い度くものなりと、真実に心がけたる。

貧者達、又は初学・初心のおとなしき童共のために書き置くものなり。

竹風述 63歳 継時(これを書く) 安永4年(1775) 乙未古辛下流(きのえかのとげかん)

判読しがたい所もあるが、「自分も貧しい者であるが、これからは貧富を問わず学問は大切である。将来を担う子どもたちに、自分も勉強し、論語を書いておきたいものだ」という意味であり、学問に対する熱意がうかがわれる。

1等米比率20・4%、JA庄内たがわ

累計
55.3
15.0
13.7
21.4
19.3
19.3
15.0
50.1
20.4
97.8

JA庄内たがわ 令和5年産米主要品種別 支所別 一等米等級比率

支所	前年等級	はえぬき	ひとめぼれ	コシヒカリ	つや姫	雪若丸
温海	98.9	33.6	66.9	0.0	86.5	64.6
新余目	97.0	3.3	16.1	0.0	1.8	85.5
立川	99.7	12.8	58.5	0.0	1.1	68.6
藤島	98.2	12.3	42.6	0.0	12.1	89.6
三川	99.1	2.1	47.8	0.0	2.6	99.2
羽黒	98.0	5.9	12.0	0.0	0.9	67.0
櫛引	94.1	4.6	13.2	0.0	1.6	88.6
朝日	97.9	30.1	82.2	8.2	16.3	100.0
合計	97.8	8.8	38.5	0.5	6.3	86.3
参考 前年産	97.8	97.1	97.2	97.2	99.2	99.7

(検査基準日：令和6年1月16日現在)

JA庄内たがわの「令和5年産米主要品種別／支所別／一等米等級比率」の最新データは表のとおりです（1月16日現在）。

品種別では、雪若丸が最も高く86・3%、次いでひとめぼれが38・5%です。

最も低かったのは、新潟県同様にコシヒカリが0・5%、主力品種のはえぬきは8・8%で、つや姫はそれより低く6・3%でした。

支所別では、温海が55・3%で最も高く、次いで朝日50・1%、藤島21・4%。最も低かったのは立川の13・7%でした。

鶴岡市では、12月議会で予算化し、等級低下に対する次期作支援事業として、化学肥料からの転換等「土づくりに」を推進します。

①低成分肥料や②堆肥、③土壌改良材の購入費の一部を支援します。

い最上川を渡らなければならぬ。

1881年の巡幸に間に合わせることは、当時の土木建築技術では不可能と思われる。



藤島から鶴岡の街道は参勤交代道であり、

東田川史跡物語 巡幸の準備 ② 道路と橋

青山 崇

清川街道の通称もあった。

鶴岡入口で赤川に架かるのが三川橋(上写真)で、1877(明治10)年竣工である。

鶴岡方面から酒田に入るには、川幅数100以上に及び水流も激し



(中写真)は、橋脚であるが苦心が伺える。またこのような複雑な橋脚では、増水し流木が多く溜まると脚が崩れる。それでも、作り替え作り替えし、通行を守って来たのである。

(下写真)は、鶴岡方面から鳥海山をバックに、両羽橋と書かれた柱を中心にしたものである。

なお両羽の名は、明治初年の一時期、出羽国を、最上川を境に北



を羽後国、南は羽前国としたことがあり、この2つの国を結ぶ橋からできた名である。初代橋竣工は、1894(明治27)年である。



刷新は自民の体質

自民党が政治刷新本部を立ち上げたが、名前が可笑しいですよ。政治を刷新するというなら、憲法の上に安部を置き、アメリカと財界のいう事を聞き、働く者の賃金を押さえて儲けを増やしている、今の資本主義の政治を変えることでシヨ。

▲今の資本主義のままでも簡単に変えられるのは、毎年増える軍事費を福祉に回すこと。併せて、溜まりに溜まっても増える内部留保の一部を吐き出して、全国一律最低賃金にして働く者の賃金を上げ、暮らし易い社会にすれば、子どもも増えるんじゃないの。

▲でも、今問題になっているのは、裏金で政治を汚してきた自民党を変えることなんだ。パーティー券で集めた金の使い方の真相を明

らかにして国民に謝って、一度政権から降りて身を清める事だナ。だから、政治を刷新することではなく、自民党のタカリの体質を変えることなんだ。即ち、大手術で財界との癒着を断ちきること。パーティー券など企業からの金を断つことなんだが、やれるかナ。本部は頑張れや。

▲金はアベ組だけでなく、自民全体で、毎年余る程財界にタカつて来たんだ。時効になったものを足すと億を超すのも何人もいたんじゃないの？裏金を使った議員にはもう議員を辞めてもらおう。

▲しかし、今度も政治資金規正法の改正を持ち出し、自分らの悪さを法律が悪いからと、国民の目を惑わそうとするんじゃないですかナ。今度は騙されねぞ。財界が政治屋に金を出して政治を汚してきたのだから。(石川)